

特別企画展示

『金魚とあそぼう』開催につきまして

～可憐で美しい金魚の世界を、ごゆっくりご堪能ください。～

岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ（所在地：岐阜県各務原市、館長：堀 由紀子）では、5月17日～7月9日まで特別企画展示「金魚とあそぼう」を開催いたします。

中国から到来して五百年余、川柳や俳諧、狂歌に詠まれ、浮世絵などに登場してきた金魚。日本ではこれから夏にかけて、あちこちで催される祭では金魚すくいの屋台が見られるようになります。金魚は、もっとも人々に親しまれている淡水魚のひとつともいえます。

金魚の歴史は古く、今から約1500年前に、中国で突然変異により現れた赤いフナから作り出されました。日本には500年ほど前、室町時代の終わりに持ち込まれたと言われています。江戸時代には、金魚売は下町の夏の風物詩となり、俳句や川柳に詠まれたり、着物や手ぬぐいのデザインに用いられたりするなど、情緒あふれる庶民文化の一つとなりました。

今回は、金魚の中でも比較的好く眼にする種類の金魚を集めてみました。可憐で美しい金魚の世界を、ごゆっくりご堪能ください。

特別企画展示

「金魚とあそぼう」

展示期間：平成19年5月17日（木）～平成19年7月9日（月）

※最終日は16:00にて展示終了

展示場所：水族館1階 特別企画展示スペース

展示内容：金魚の生体展示、3年以上飼育し30cm程度に成長した金魚と一般の金魚との比較展示、金魚川柳募集、金魚売り体験、金魚に変身！コーナー など

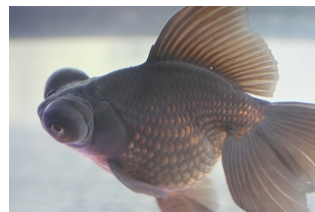
料 金：入館料のみでご覧いただけます。

展示代表種



頂天眼

背びれがなくデメランチュウとも呼ばれます。中国には瓶の中で飼われていたデメキンが何世代も上を見ているうちに徐々に横についていた眼が上を向くようになったという逸話が残っています。珍魚として人気が高く、日本で大量生産されたものが、世界中に輸出されています。



クロデメキン（黒出目金）

リュウキンの突然変異により作り出されたもので、生まれて2ヶ月は普通の眼ですが、成長するにつれ眼が出てきます。日本には、明治28年に中国からアメリカへ輸出される途中、立ち寄った横浜で一部買い取られたものが始まりのようです。

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館 担当/北川・高木・杉本 TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

<お客様からのお問い合わせ先は>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トト ぎふ) TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

公式ホームページ <http://www.aquatotto.com>

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 河川環境楽園内